

令和3年度

農事功績表彰者名簿

令和4年3月16日

公益社団法人

大日本農会



## 目 次

	頁
<b>農 事 功 勞 者</b>	
紫白綬有功章	2
緑白綬有功章 (国内)	
北海道・東北地域	5
関東地域	8
北陸地域	11
東海地域	13
近畿地域	14
中国四国地域	16
九州・沖縄地域	18
緑白綬有功章 (国外)	21
<b>農 業 改 良 普 及 功 勞 者</b>	
緑白綬有功章 (国内)	22
<b>農 業 技 術 開 発 功 勞 者</b>	
緑白綬有功章 (国内)	23
<b>本 会 功 勞 者</b>	
紫白綬有功章 (国内)	24
紅白綬有功章 (国内)	24

### 令和3年度農事功績表彰者 64名

(内訳)

紫白綬有功章	4名
緑白綬有功章	56名
紅白綬有功章	4名

# 農 事 功 労 者

## 紫白綬有功章（国内） 3名

氏 名	住 所	経営部門	表 彰 事 由
ひしぬま ひでまさ 菱 沼 英 昌 (82歳) 緑白綬有功章 平成23年度受章	茨城県 桜川市	農産部門 (法人)	<p>1 高校卒業と同時に就農し、水稻とクリとの収穫作業の競合を回避するため作業の省力化を模索した結果、集落ぐるみで自脱型コンバインを導入した。その後、地域の土地基盤整備事業を契機として作業受託面積を徐々に拡大させ、大豆栽培では狭畦栽培を地域に先駆けて導入するなど、水稻-麦・大豆のブロックローテーション、高度な省力化技術等の導入による経営基盤を確立した。経営規模の拡大や後継者の就農に伴い、有限会社を設立しさらに経営規模の拡大を進め、水稻の不耕起乾田直播技術等の新技術を次々と導入するとともに、ソバを導入する等の経営の多角化を推進した。</p> <p>緑白綬有功章受章後は、玄そばや丸抜きそば、そば粉などのソバ関連商品の通信販売を新たに開始し粗収益を大幅に拡大させるとともに、耕うん同時平高畝立て播種機、収量センサー付きコンバインや圃場管理システム(KSAS)の新技術を地域に先駆けて導入し、現在も高品質、高効率生産を展開している。</p> <p>2 昭和57年から現在に至るまで、地区土地改良区理事として、事業実施のための啓発・合意形成に尽力し農地の流動化、転作の団地化、遊休農地の解消に大きく貢献した。また、町の農協理事として、特産米の「太陽ひかり米」有利販売や青大豆、ソバ等の消費拡大に貢献するとともに、耕畜連携による循環型農業の拡大にも尽力した。</p> <p>また、県農業経営士として県立農業大学校等から学生を研修生として数多く受け入れ担い手の育成に尽力するとともに、永年にわたり国や県の試験研究機関や農業機械メーカー等と連携した現地試験に協力し、近年では「小麦さとのそらの早期播種技術」など多くの新しい栽培技術や農業機械等の開発・普及に貢献している。</p>

氏 名	住 所	経営部門	表 彰 事 由
え ぎ き      あ き お <b>江 崎      明 雄</b> (73歳) 緑白綬有功章 平成23年度受章	栃木県 大田原市	果樹部門	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="866 443 1453 1016">               1 昭和42年に農業高校を卒業後就農，水稲栽培に養豚，和牛肥育及びナシを導入し経営を開始したが，その後ナシの規模拡大を図った。ナシの安定収量確保のための花芽着生の向上策として新たに剪定技術を確立し作業の効率化を図った。平成8年に晩生品種「にっこり」を積極的に導入し収益性を向上させるとともに，規格外ナシのパイ利用やエコファーマー，GAP手法導入により安全・安心なナシ生産に努めた。                近年は後継者に経営を移譲しつつも，経営規模を維持しながら老木樹の部分改植を行うことにより収量と品質の安定確保に努めるとともに，非破壊センサーを導入・活用した実需者への直接販売等多様な販路確保と顧客との信頼関係の維持に努力している。             </li> <li data-bbox="866 1055 1453 1480">               2 高品質なナシの生産のため，基本的な栽培技術の厳格な励行とともに，自ら確立した剪定技術の地域への普及を図り，地域の生産組織はもとより県園芸特産振興協会等のリーダーとして，「にっこり」の産地ブランドの形成に大きく貢献した。                平成27年には東日本大震災以降中断していた「にっこり」の海外輸出について関係機関に対する働きかけを行い輸出再開の実現に貢献するとともに，県農業士・名誉農業士として研修生を積極的に受け入れ人材育成に尽力している。             </li> </ol>

氏 名	住 所	経営部門	表 彰 事 由
かい ほつ あき ひろ <b>開 発 明 弘</b> (75歳) 緑白綬有功章 平成23年度受章	兵庫県 姫路市	野菜部門	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 昭和45年、共同でハウスを導入し、電照キクと夏ギクの生産を開始した。その後、網干メロン（露地）、ハウスシュンギク、ハウス夏秋トマト等を導入し野菜専作経営を確立した後、地元量販店との契約生産・販売により経営の安定化と地産地消の取組を実現した。緑白綬有功章受章後は、網干メロンのハウス栽培を開始し、県の安心ブランドの認証を受けるなど安全・安心な農産物の生産と普及を牽引するとともに、V字仕立て栽培を改良したアーチ型立体栽培を開発し品質と作業性の向上を実現し地域に普及させ、市の伝統野菜としてのブランドの確立に大きく貢献した。</li> <li>2 自家消費が中心だった伝統野菜網干メロンについて、地元量販店との契約販売を通じて収穫後短時間で消費者に届ける仕組み構築により産地育成に貢献するとともに、近年は自らが開発した技術の普及を図るため市の青年農業者を対象とした網干メロン塾を主宰しているほか研修会等を開催し後継者育成に取り組んでいる。            また、県農業経営士として永年にわたり研修生を受け入れ農業後継者の育成に取り組むとともに、近年はインターンシップにも取り組み次世代を担う人材育成に熱心に取り組んでいるほか、地域の特産物、農産加工品を広く知らしめるための研究会を立ち上げ、網干メロンのみならず様々な農産物・加工品の生産者と実需者を繋ぐ活動を実践している。</li> </ol>

## 緑白綬有功章（国内） 48名

（北海道・東北地域 11名）

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
ふじ がき きみ こ 藤垣 君子 （69歳）	北海道 名寄市	露地・施設園芸・畑作複合経営 （法人）	1 施設野菜・花き，果樹など多様な作物を栽培し，労働時間の平準化と所得の安定・向上を実現。農業体験ツアーや産直販売にも取り組む。法人化で労働環境安定化と通年雇用を実現。 2 道指導農業士等として地域での複式簿記や家族経営協定の普及に貢献。研修生受入れや若手女性農業者育成で担い手育成に尽力。農村ツーリズム等により農業・農村の魅力発信。
ほり た とし たか 堀田 敏孝 （66歳）	北海道 岩見沢市	水稲・小麦・大豆・ニンジン作複合経営	1 ニンジンを先駆的に導入，収穫・選果の機械収穫体系確立により小麦・大豆・ニンジンの4年3作輪作体系を確立し安定生産と所得向上を実現。さらに水稲の輪作組込みも目指す。 2 小麦収穫，無人ヘリ防除等の組織設立を手がけるとともに，基盤整備を推進し地域農業の発展に貢献。地域の指導農業士会会長として，担い手育成にも尽力。
かね ひら のり お 兼平 則雄 （74歳）	青森県 鱒ヶ沢町	スイカ専作経営	1 連作障害対策，地域の土壌，気候に合った品種・台木の選定と栽培方法を確立。遊休農地となっていた共有地で省力技術の導入と雇用の活用によって産地規模を拡大。 2 トップレベルの栽培技術や知識を生かして，地域では強力なリーダーシップを発揮し組織を牽引。次世代リーダーの育成に力を注ぎ，地域・組織の活性化に貢献。
もり かわ しゅうすけ 盛川 周祐 （70歳）	岩手県 花巻市	小麦・水稲・大豆・子実用トウモロコシ作経営 （法人）	1 転作田での小麦栽培をきっかけに畑作物を軸にした農業経営に転換。ほ場区画の大型化，耕地の団地化を進めるとともに畑作機械を主とする体系を確立。乾田直播に取り組み，作業効率を高めて，生産コストの削減と省力化を実現。 2 子実用トウモロコシを養豚農家に販売し耕畜連携を構築。花巻米ブランド化研究会を主宰し地域農業を牽引するとともに，農業農村指導士として研修生を受け入れる等担い手育成に尽力。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
北田 晴男 <small>きただ はるお</small> (67歳)	岩手県盛岡市	リンゴ専作経営	1 リンゴの特別栽培による環境に優しい農業と「葉とらず」栽培による省力化を实践。産直販売及び全国顧客への宅配やジャム等の製造販売など6次化を実現。 2 晴男氏は部会長としてリンゴの特別栽培に取り組み、技術力や品質を高め、産地づくりに貢献。富士子氏は盛岡りんご推進協議会会長として盛岡リンゴのブランド化に貢献。
北田 富士子 <small>きただ ふじこ</small> (67歳)			
加藤 重子 <small>かとう しげこ</small> (72歳)	宮城県加美町	水稲・野菜作・民宿複合経営	1 冬期労働力活用のため水稲作に施設園芸を導入。地域の直売活動を主導的に担う。農家民宿で重子氏の郷土料理提供や孝志氏の各種体験活動を通じ農村文化の魅力発信に貢献。 2 重子氏は農事組合法人組合長として地域の活性化や所得向上に貢献。県指導農業士として人材育成に活躍。孝志氏は長く地区の土地改良区理事長として基盤整備に尽力。
加藤 孝志 <small>かとう たかし</small> (74歳)			
工藤 巖 <small>くどう いわお</small> (67歳)	秋田県能代市	ネギ専作経営(法人)	1 土作りの徹底や機械化一貫体系の導入、収穫時期の前進化等により経営規模を拡大。徹底した品質管理を行う体制を構築し、「白神ねぎ」のブランド力強化に貢献。 2 部会長として産地の拡大や機械導入の促進に貢献。県指導農業士や土地改良区理事などを務め、担い手育成や農地の維持保全など地域農業の発展に尽力。
佐々木 彰 <small>ささき あきら</small> (65歳)	秋田県大仙市	水稲作・野菜加工等複合経営	1 夫婦協業で地域ニーズを捉えて水稲・野菜・漬物加工・販売を行う法人を設立。地元スーパーと提携し、インショップ方式で農産物・加工品等を販売するビジネスモデルを確立。 2 生産から消費までを地域内で行う中で農業所得の向上を図り、地域農業振興、担い手の確保・育成に貢献する夫婦協業のロールモデルに。彰氏は地域農業士会副会長として活躍。
佐々木 幸子 <small>ささき さちこ</small> (65歳)		(法人)	



氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
さいとう きくお 齊藤 菊雄 (75歳)	山形県 最上町	アスパラガス 専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域でいち早くアスパラガスを導入し、土づくりを含めた栽培技術を確認。町のアスパラガスのブランドを構築し、一大産地にまで育成。</li> <li>2 町アスパラガス生産協議会初代会長として産地化を推進。町内の畜産農家の堆肥の活用でエコファーマー認証を普及。大規模農業経営により地域の雇用創出にも貢献。</li> </ol>
わたなべ まさよし 渡邊 正義 (69歳)	山形県 小国町	菌茸・水稲作 複合経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 山間地域の環境を活かして各種菌茸と水稲を組み合わせた周年型農業を確立。なめこ等の個人ブランドに商標登録を行い、植菌原木供給も行いつつ高品質安定生産とを実現。</li> <li>2 観光わらび園を先駆的に開設、町農業振興公社代表取締役等も歴任し幅広い分野で地域の発展に寄与。県指導農業士や農業委員として地域農業の振興、担い手の育成にも尽力。</li> </ol>
よこやま まさはる 横山 正治 (68歳)	福島県 会津美里町	水稲専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 水稲直播栽培や密苗栽培等の新技術を地域に先駆けて導入し水稲部門を中心に規模拡大するとともに、園芸品目を取り入れ安定経営を実現。転作作物受託組織の設立に関与し地域農業を牽引。</li> <li>2 地域に先駆けて家族協力協定を締結し、若い経営者にとって魅力ある経営を実践。正治氏は県指導農業士会長等として担い手の育成に尽力したほか、夫妻で研修生等を積極的に受け入れ。</li> </ol>
よこやま きょうこ 横山 教子 (67歳)			

(関東地域 9名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
こいけ けん 小池 健 (80歳)	茨城県 取手市	ブドウ専作経営	1 東京に近く、消費者が多い立地条件を活かし、地産地消の先駆けとしてブドウ栽培を確立。近隣の主婦や定年退職者を労働力として確保し、安定雇用を実現。 2 新規生産者への助言・指導を積極的に行い、県内ブドウ生産技術のレベルアップに尽力。県農業経営士等、地域のリーダーとして地域農業の振興、農村活性化に貢献。
たての よしあき 館野 義明 (75歳)	栃木県 真岡市	施設イチゴ専作経営	1 労働環境の改善、育苗の省力化に取り組み、周年雇用による大規模施設栽培を実現。炭酸ガス施用技術導入による単収向上、天敵導入による省農薬栽培技術を確立。 2 イチゴのパック詰めを行える園芸特産流通センターの整備に関わり、イチゴの調整作業の分業化体制確立に貢献。県全域のイチゴの生産振興、販売促進に貢献。
みねざき まさはる 峯崎 正春 (73歳)	群馬県 明和町	鉢物花き専作経営 (法人)	1 鉢物シクラメン・アジサイ・カーネーションの栽培体系を確立。シクラメンでは先進的な栄養診断の導入で品質向上を果たし、鉢物花き専作の大規模法人経営を実現。 2 全国でも稀であった鉢物の共同販売導入に先駆的役割を果たし、全国屈指の鉢物産地を築く。後進の指導で後継者育成も実現。多くの地域組織の役員を歴任。
もてぎ かついちろう 茂木 勝一郎 (79歳)	埼玉県 小鹿野町	施設キュウリ専作経営	1 中山間地域特有の狭小で粘土や礫まじり土壌など不利な営農条件を克服してキュウリ経営を確立。半促成栽培と抑制栽培に加え越冬栽培も導入して周年生産を確立。 2 地区園芸部会長として生産・販売体制の強化、「秩父きゅうり」のブランド化に尽力。担い手育成塾の設置及び運営に全面的に協力し、後継者育成に貢献。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
ばば 馬場 としあき 敏明 (65歳)	東京都 日の出町	露地・施設野菜作経営	1 キュウリの施設栽培を確立し比重を増やすことで経営を安定化。借地を活用し冬どりの露地野菜を増やすことにより、労力と収入の平準化を実現。 2 各種農業団体役員を歴任し、地域農業の発展に貢献。後継者の就農を契機に家族経営協定を締結したほか、指導農業士として新規就農者を指導するなど地域の担い手育成に貢献。
いし い かず お 石井 和夫 (68歳)	神奈川県 伊勢原市	ナシ・ブドウ・カキ作経営	1 消費者ニーズを的確にとらえてブドウ「シャインマスカット」、カキ「太秋」など新品種を導入。ブドウのH型平行整枝など省力栽培技術の導入と創意工夫により、安定した果樹経営を実現。 2 県果樹園芸組合連合会長等を長年努め、新品種の導入など、産地づくりをけん引し地域農業の活性化に貢献。農業経営士として研修生の指導を行い、担い手育成に貢献。
あき やま せん いち 秋山 仙一 (66歳)	山梨県 南アルプス市	モモ・オウトウ・スモモ・カキ作経営	1 モモ、オウトウ、スモモ、カキを組み合わせた大規模果樹経営を実践し、産地を代表する果樹経営のモデルを確立。モモ・オウトウについて工夫を凝らした低樹高仕立てを導入。 2 地域の果樹農家の模範的、指導的な役割を果たし、産地の発展や県の果樹振興に貢献。農業大学の学生や就農希望者に技術と経営のノウハウを教授し、担い手育成に貢献。
い とう しげ お 伊東 茂男 (71歳)	長野県 伊那市	トルコギキョウ専作経営 (法人)	1 自社育成のオリジナル品種を組み合わせた抑制型主体のトルコギキョウ切り花安定生産を確立。近年では気候変動に対応する栽培技術や土壌病害に強い品種育成に注力。 2 地元JAで栽培されるトルコギキョウ品種の80%以上を育成し、共同育苗による良質苗生産・低価格供給に重要な役割を果たす。多くの研修生を受け入れ、人材育成に尽力。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
うえ やま 上山 (68歳)	静岡県 藤枝市	施設イチゴ専 作経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 水田においてイチゴの高設栽培を開始し規模拡大を進め、先進的経営を確立。直売、量販店との契約取引、イチゴ狩りを柱とし、さまざまな販売チャネルにより経営安定を実現。</li> <li>2 農林大学校等から研修生を受入れ、地域の担い手育成に貢献。地域児童・生徒のイチゴ狩り招待や食育教育を行うと共に、特別支援学校等からの研修を受入れ、農福連携に貢献。</li> </ol>

(北陸地域 5名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
ひらの えいじ 平野 栄治 (74歳)	新潟県 新潟市	水稲専作経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 稲作の機械化, ネットワークづくりに早くから取り組み経営基盤を確立。生産部門の法人化により経営を強化し, 輸出, ICTの導入, 農地の集積・集約化など, 地域のモデル的な稲作経営を実践。</li><li>2 農家組合長として地域の稲作振興, JA役員として組織運営に尽力。指導農業士として担い手を育成するとともに, 農業経営者の代表として国や県に政策提言を行い農業施策の推進に貢献。</li></ol>
あさ つま ゆきお 朝妻 幸雄 (65歳)	新潟県 新潟市	施設・露地野菜作経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 高い栽培技術力で露地栽培に施設野菜を組み合わせた周年作付体系を実践することにより収益性の高い大規模安定経営を確立。</li><li>2 次世代の農業の担い手となる農業後継者の育成に尽力。先駆的な野菜経営の実践を通じて, 産地のブランド力の向上と新潟県の園芸振興に貢献。</li></ol>
きよ と かずふみ 清都 和文 (67歳)	富山県 高岡市	チューリップ作経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 地域の信頼による農地集積と機械化一貫体系により大規模チューリップ球根生産を実現。オリジナル品種活用等, 球根産地のメリットを生かしたチューリップ切り花栽培を実現。</li><li>2 長く県球根組合の要職で産業振興に貢献。「農業技術の匠」として若手等への技術普及と後進育成に尽力。堆肥散布と緑肥栽培による球根栽培の地力維持技術を普及。</li></ol>
のむら ぜんかく 野村 善覚 (71歳)	石川県 小松市	水稲作・加工複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 消費者等の需要を見据えて農薬や化学肥料を減じ環境に配慮した栽培に取り組むとともに, 時代の先を見据えてもち加工・販売等に取り組み, 複合経営を軌道に乗せる。</li><li>2 地域諸団体の要職を歴任し, 農業振興に貢献。自社の直売所を活用して, 周辺農家に販売機会を提供するとともに, 年配者の生きがいを創出し, 地域活性化に貢献。</li></ol>

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
むね とも <b>棟 朝 利 明</b> (73歳)	福井県 大野市	水稲・大麦・ ソバ作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高収量・高品質な水稲生産に加え大麦の採種に取り組むとともに農地集約を進め低コスト生産を実現。農業機械の整備・修繕を自ら行うなど経営の合理化に取り組むなど水稲・大麦・ソバ体系の地域モデルを実践・普及。</li> <li>2 他の大規模農家とともに転作作物の作業を受託し地域転作の推進に寄与。県指導農業士会、市認定農業者協議会等の会長等を歴任し、会員相互の栽培技術の研鑽や後継者の育成に貢献。</li> </ol>

(東海地域 3名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
いわで あきよし 岩出 明喜 (70歳)	岐阜県 郡上市	水稲専作経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 条件不利地である中山間地域において、地域に先駆けて飼料用稲を導入。環境に配慮した栽培、スマート農業等新たな試みに次々とチャレンジして水稲作を中心とした法人経営を確立。</li><li>2 長年にわたり指導農業者や農業委員会などの役職を歴任し、県や市の農業振興に貢献。地元集落の振興にも熱心で鳥獣被害対策や農業体験の支援などを地域で率先して実践。</li></ol>
かじ たかみつ 梶 孝光 (72歳)	愛知県 豊田市	小ギク作・繁殖 和牛複合経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 土づくりのための堆肥施用や整枝作業の簡略化、畝内マルチがけ同時施法等の省力化技術の導入により高品質・安定生産を実現。繁殖和牛経営においても共進会で県代表の実績。</li><li>2 地域の生花生産組合の組合長として安定出荷のための技術指導や共選共販体制への移行、後継者育成により、県内最大の小ギクの共選・共販産地を築く。</li></ol>
あずま かつおみ 東 克臣 (61歳)	三重県 南伊勢町	カンキツ・水 稲作複合経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 温州みかんへのマルチ栽培や樹成り完熟、ハウスみかん等の新栽培技術と中晩柑の導入で作期分散と高価格販売を実現。作業受託を含めた水稲部門の拡大と合わせ経営を確立。</li><li>2 地区JA柑橘部部会長としてみかんのブランド力向上、担い手育成等に貢献。地元の農業、農村文化を伝える企画実施で地域活性化にも尽力。県指導農業者のリーダーとして活躍。</li></ol>

(近畿地域 6名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
やす い けい いち 安井 敬一 (77歳)	滋賀県 甲賀市	茶業経営	1 新品種や防霜ファンの先駆的な導入等により、茶業経営の近代化と高品質茶の安定生産を実現。いち早くかぶせ茶の生産に取り組み、第一人者として地域全体の生産技術の向上に貢献。 2 パイロット事業導入による大規模茶園造成に尽力し、県下最大の茶産地の形成に寄与。町茶業協会長として全国お茶まつりや関西茶業振興大会の開催に尽力するなど地域茶業の発展に貢献。
いし わり てる ひさ 石割 照久 (65歳)	京都府 京都市	露地野菜作 (キャベツ・ 九条ネギ) 経 営	1 野菜本来の味を引き出す栽培方法を追求実践。料理人と直接交渉して販路拡大し、120品目の野菜を生産し、全国300の料理店のニーズに応じた受注生産を実現。 2 大学生等を対象に農業実習を通じて国内外に京都の農業や特産物への理解を深める活動を実施。府農業士会会長として農業士活動を牽引するとともに、後継者育成に貢献。
い せき よし つぐ 井関 義次 (66歳)	大阪府 池田市	水稲専作経営	1 アイガモ農法を取り入れ水稲を中心とする農業経営を確立。アンテナショップを設置するとともに経営へのパソコン導入、ホームページ開設などにいち早く取り組み、先進的な経営を実現。 2 府の「農の匠」として、府内農業者の資質向上、府の農業振興に貢献。小学生の稲刈り体験学習や黒枝豆の収穫体験等を通じて都市住民への農業理解の増進にも尽力。
やま ぐち みき お 山口 幹男 (65歳)	兵庫県 姫路市	苗物・露地野 菜作複合経営	1 野菜及び花の高品質苗の生産では、高度な接ぎ木技術と育苗培土調製技術を駆使するとともに、作業の半自動化で省力化と効率化を実現。露地野菜栽培との複合経営を確立。 2 耕作放棄地対策として設立した農事組合法人理事長として地域の生産基盤整備を推進。県農業経営士会会長として会員の経営力向上や地域農業の課題解決、県政への施策提言等に尽力。



氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
はぎはら <b>萩原 茂</b> (73歳)	奈良県 曾爾村	施設ハウレン ソウ専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域に先駆けて耐候性パイプハウスを導入し、耐候性を実証し産地内での普及に貢献。栽培マニュアルの作成に協力するなど「大和寒熟ほうれん草」の普及に貢献。</li> <li>2 新規就農者の育成及び海外技能実習生の受け入れ・技能向上に貢献。長年にわたり農業委員会会長等の要職を務め、地域農業の発展に貢献。</li> </ol>
おおた なおひろ <b>太田 直廣</b> (71歳)	和歌山県 湯浅町	カンキツ作経 営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高品質果実による販路開拓とマーケットインによる加工品開発で業績を伸ばし、後継者確保と法人化も実現。輸出に先駆的に取り組み、生果・加工品の販路を拡大。</li> <li>2 地域の「田村みかん」ブランド確立と販売促進に貢献。地域の原料を使った加工品により地域全体の所得向上に貢献。指導農業士として後継者育成に貢献。</li> </ol>

(中国四国地域 5名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
なが や けん じ 永 谷 謙 治 (73歳)	岡山県 美作市	水稲・大豆・ はだか麦作経 営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 花壇苗生産の先駆者として活躍後、集落営農組織を設立。はだか麦の作付拡大、大豆の省力・安定技術の導入等麦と大豆二毛作による農地の有効利用を進め高収益水田農業を実現。</li> <li>2 地域の花き産地の振興を進め研修生の受け入れ等により若手農業者の育成に尽力。農事組合法人代表理事、市農業委員として農地集積や耕作放棄地対策に大きく貢献。</li> </ol>
ふじ もと いさお 藤 本 勲 (74歳)	広島県 庄原市	水稲作・和牛 繁殖複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 和牛繁殖と水稲作の複合経営による自家製堆肥の施用とアイガモ農法で環境に配慮した農業経営を確立。規模拡大に合わせ、消費者交流からニーズを捉える経営スタイルを実現。</li> <li>2 県稲作経営者会議副会長として新技術導入と地域づくりに貢献。消費者との交流会を長年続ける。児童にも農業の価値を伝えることに尽力。県内に先駆けて家族経営協定締結。</li> </ol>
しげ み よし ゆき 茂 美 良 行 (67歳)	徳島県 板野町	ニンジン専作 経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 徳島県の春ニンジンの高品質、安定生産、安定出荷体制を確立。後継者夫婦とともに家族経営協定を締結して近代的な大規模ニンジン専作経営を実践。</li> <li>2 良行氏はニンジン部会長として市場の要望に応じた技術導入等、産地づくりに貢献。美代子氏は指導農業士、女性リーダーとして農業後継者及び女性農業者の育成に貢献。</li> </ol>
しげ み み よ こ 茂 美 美 代 子 (65歳)			
よし だ てつ し 吉 田 哲 士 (70歳)	香川県 三豊市	カンキツ・ビ ワ作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 品種構成の転換や園地の整備で経営規模を拡大。積極的に先進技術や施設の導入を進め、データ活用を合わせて行うことで、効率的な生産体制を実現。</li> <li>2 県カンキツオリジナル品種の生産拡大や地域の生産安定と高品質化に尽力し、果樹生産のリーダーとして県果樹産業の振興に貢献。高度な技術を生かし、若手農家の育成に貢献。</li> </ol>

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
あお い みき お 青 井 幹 夫 (70歳)	愛媛県 松山市	カンキツ作経 営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設・露地の中晩柑多品種で安定した経営を確立。多目的スプリンクラー技術の導入による省力化，垣根仕立て栽培による効率生産，樹上越冬栽培等で高付加価値販売を実現。</li> <li>2 就農研修センターの研修生を受け入れ担い手育成に貢献。幹夫氏は農業者ネットワーク会長として，和子氏は県女性農業委員会の初代会長として経営改善，男女共同参画の推進に尽力。</li> </ol>
あお い かず こ 青 井 和 子 (69歳)			

(九州・沖縄地域 9名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
なか その ひで はる 中園 英治 (67歳)	福岡県 八女市	電照ギク専作 経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 規模拡大と周年栽培により電照菊の大規模雇用型経営を実現。さらに施設の高度化と品種切替により地域のモデルとなる収益性の高い周年安定生産経営を実現。</li> <li>2 地域の電照菊部会長等を務め、新品種への切替、施設の高度化など産地の方向性を見出し、その実現に向け地域連携で全国の輪ギク産地をけん引し、施設花きの発展に貢献。</li> </ol>
はら やす ひろ 原 康裕 (64歳)	佐賀県 みやき町	カーネーション専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家族労力だけで効率的経営ができるような施設管理と栽培体系を確立。市場を意識した出荷形態の改善、ネット販売、ブランド化等で効率的な経営に取り組む。</li> <li>2 リーダーとして県のカーネーション振興や産地づくりに尽力。県農業士会副会長として担い手の確保・育成や女性農業者の活躍できる環境づくり、農業・農村の理解醸成に貢献。</li> </ol>
みや ぎき なお とし 宮崎 直利 (74歳)	長崎県 佐世保市	露地ミカン専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ミカンのシートマルチ栽培やオリジナル品種「させぼ温州」の栽培法を確立。園内道整備、スピードプレーヤーを導入し、作業の快適化・省力化を実現。</li> <li>2 「園地登録園制度」を地域に普及し、高品質生産と区分販売でブランド化を推進。果樹研究会副会長等を務め地域農業を振興。就農希望者を雇用し、技術指導を通じて担い手育成に貢献。</li> </ol>
おお つ たか みつ 大津 隆満 (74歳)	熊本県 熊本市	水稻・大豆・小麦作等経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 収益性の高い花き栽培で強固な経営基盤を確立した後、地域ぐるみで大豆作を中心に環境に配慮した農業生産を行う受託組織を設立。両部門を法人化し地域のモデル農家として地域の発展に貢献。</li> <li>2 県指導農業士として新規就農希望者等を積極的に受け入れ人材育成に貢献。担い手組織のリーダーとして県内の法人設立支援等に尽力し、地域農業を支える担い手の育成・確保に寄与。</li> </ol>

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
おかだ やすし <b>岡田 康</b> (72歳)	熊本県 八代市	施設メロン・ トマト作経営 (法人)	1 施設メロン・トマトの輪作体系を確立し、自動換気システムやメロン立体栽培等の先端技術を地域に先駆けて導入。夫婦で役割分担し、効率的な農業経営を実現。 2 農業協同組合で役員として、組織改革に貢献。担い手確保のため、営農改善組合や農事組合法人を立ち上げ、地区のリーダーとして地域農業の維持・発展に貢献。
おかだ みちこ <b>岡田 美智子</b> (67歳)			
いわ たけ とし ゆき <b>岩 武 俊 幸</b> (73歳)	大分県 宇佐市	コネギ専作経 営	1 土作りにこだわり、季節に応じたきめ細かな栽培管理でコネギの周年出荷体系を確立。出荷調製作業は近所の主婦に委託し、労力分散により順調に経営規模を拡大。 2 ネギ部会初代会長を務め、部会の統一とその後の発展に大きく貢献。コネギトレーニングファームで講師を務め、新規就農者の育成に貢献。
まつ だ みのる <b>松 田 実</b> (73歳)	宮崎県 宮崎市	施設花き専作 経営	1 経営分析により花き経営を開始し、計画的に規模拡大。商標登録による個人ブランド化で差別化・有利販売。ハウス内の通路の整備や台車の考案等で作業性を大幅に改善。 2 新規就農者の支援や高校生の研修等地域の担い手育成に尽力。各組織や地域のリーダーとして貢献。考案した台車は他の鉢物農家に広く普及し、作業性向上に貢献。
おか もと かず と <b>岡 元 和 人</b> (66歳)	鹿児島県 指宿市	露地野菜作 (カボチャ・ レタス) 経営 (法人)	1 畑地かんがいを活用したカボチャ、レタス等を組み合わせた周年出荷体系を確立。法人化と外国人技能実習生受入による雇用安定で高収益な露地野菜作の大規模経営を実現。 2 JAの役員を歴任し、温暖な気候と南薩畑地かんがいを活用した豆類、オクラ、カボチャの産地育成に尽力。指導農業士として、新規就農者・青年農業者の確保・育成に貢献。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
<small>きんじょう</small> <b>金城</b> (74歳)	<small>あきら</small> <b>彰</b> 沖縄県 八重瀬町	露地野菜作 (オクラ・サ ヤインゲン) 経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オペレータ時の経験を生かした土づくりを実践し、計画的な作付体系により作業の平準化と省力化に努め、サヤインゲン、オクラの安定生産と高収益性を実現。</li> <li>2 県農業機械士協議会会長を20年間務め、農業の機械化・作業受委託を先導し、サトウキビ振興や野菜産地化に貢献。町議や農業委員等も歴任し、地域農業の発展に貢献。</li> </ol>

## 緑白綬有功章（国外） 2名

（北米・南加支会 2名）

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
まつの 松野 淑人 (88歳)	24999 Potter Road, Salinas, CA, USA	バラ切り花栽培	1934年、鹿児島県生まれ、1956年に渡米。 1973年に会社を設立し、カーネーション栽培を始め、その後、ハイブリッド・ティローズ、ガーデンローズ等を手がける。北米で唯一のデビッド・オースチンローズ栽培のライセンスを取得するなど2020年には全米栽培業者のトップ100に選定されている。
いわした 岩下 寿盛 (75歳)	5420 S.Centinela Ave, LA, CA, USA	庭園業・造園業	1946年、鹿児島県生まれ。 氏は、1965年、高校卒業後に渡米し、程なく庭園業、造園業に従事。日系人の日本庭園のメンテナンスにも協力した。 南加鹿児島県人会会長として日系人社会活動及び日米親善に尽力したほか、南加庭園業連盟会長として地域の庭園業の発展に貢献している。

## 農業改良普及功労者

(一般社団法人 全国農業改良普及支援協会推薦)

### 緑白綬有功章 (国内) 4名

氏名	住所	表彰事由
ほし 星 さ た お 佐多男 (74歳)	福島県 南会津町	「百年産地」の育成を目標に、県初の花き担当普及員として多くの花き産地の振興に携わり、過疎化が進んでいた南会津・奥会津地方において、地域の基幹産業としてのカスミソウ、リンドウ、アスパラガス等の園芸産地を育成した。退職後は、県専門員として地域特産物の発掘・普及に取り組み、現在は、自ら農業を営み、地域特産物の生産・販売や耕作放棄地解消の中心的な役割を担うほか、地域特産物の栽培改良に取り組んでいる。
てらしま 寺島 ひで かつ 秀勝 (75歳)	長野県 立科町	長年にわたり花きの生産振興と産地育成に当たるとともに、パソコンを活用した農業経営分析の指導等に先駆的に取り組み、パソコンを用いた普及活動の全国への定着、県情報センターのデータベースシステムの構築・運営等、情報技術を活用した効率的な普及活動の推進に尽力した。退職後は、町の農業委員長として耕作放棄地の解消や新規就農者の確保に取り組むとともに、自ら集落営農組織を立ち上げ活動している。
さか い と よ こ 酒井登代子 (74歳)	福井県 勝山市	サトイモの加工品開発によるブランド化など農産加工の推進や農村女性・高齢者の活躍推進に取り組むとともに、県の食文化に係る著作を多く発刊、海外での食のプロモーション活動や全国高校生食育王選手権の開催、全国初の地産地消推進条例の制定など全国に先駆けて地産地消や食育の礎を築いた。退職後は、地元食材の加工や給食への食材供給活動に自ら取り組むとともに、農産加工品開発の指導等6次産業化の推進に貢献している。
やま にし 山西 かず ひろ 和廣 (66歳)	愛媛県 松山市	平成3年台風第19号の被災柑橘産地での緊急的な塩害対策や営農再建の指導と技術資料の執筆・監修、「清見」、「河内晩柑」、「紅まどんな」等の生産技術確立と産地化、果樹マルチ栽培における品質向上技術の確立など、県の果樹生産振興に多大な貢献をした。退職後は、農業者の人材育成等に尽力するとともに、自ら先進的な経営を実践し、平成30年7月豪雨では被災園地の調査や対策指導を行うなど、地域農業に貢献している。



## 農業技術開発功労者

(公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会推薦)

### 緑白綬有功章（国内） 2名

氏名	住所	表彰事由
近藤 直 （62歳）	京都府 京都市	果実の選別作業において、マシンビジョンシステムで重要な要素である光源のセッティング、キャリブレーション方法、ハレーション除去のための偏光フィルタを用いた直接照射方式の光源を開発するとともに、肉眼でも検出困難なかんきつの微小傷や腐敗を検出可能とするイメージングのための蛍光物質の特定等を行った。その成果は、画像処理による自動検査システムとして実用化され、農作業や果実選別作業及び検査作業の自動化・高精度化に大きく貢献した。
後藤 幸輝 （65歳）	北海道 北見市	ほ場の排水改良対策を実施するための施工機として、農家自らが資材を使わずにトラクターに装着するだけで迅速・簡単に施工できる穿孔暗渠機「カットドレーン」を開発し、畑作物の生産力強化に寄与した。 最近、畑作物や野菜とともに、需要が高まりつつある国産ワインの醸造用ブドウの栽培における排水対策の切り札として活用が進んでいるほか、中央アジアをはじめ東南アジア諸国における普及も期待されている。

京都大学大学院農学研究科教授

平成26年度（第70回）農業技術功労者表彰受賞

株式会社北海コーキ代表取締役

平成27年度（第16回）民間部門農林水産研究開発功績者表彰 農林水産技術会議会長賞受賞

## 本 会 功 労 者

### 紫白綬有功章（国内） 1名

氏 名	住 所	表 彰 事 由
はやし 林 良博 (75歳)	東京都 荒川区	本会に対する功績特に顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）

### 紅白綬有功章（国内） 4名

氏 名	住 所	表 彰 事 由
にし かわ 西川 孝一 (72歳)	東京都 品川区	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）

なん ば 難波 成任 (70歳)	東京都 文京区	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
------------------------	------------	---

のう ぐち 納口 りり子 (64歳)	茨城県 つくば市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
--------------------------	-------------	---

と しま 戸嶋 忠 (72歳)	秋田県 北秋田市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
-----------------------	-------------	---

## 農事功労者経営類型別一覧（国内）

区分	部門	都道府県	市町村	氏名	経営の特徴	掲載頁
紫白綬	農産	茨城県	桜川市	菱沼 英昌	ソバ・水稲・小麦・大豆作経営(法人)	2
紫白綬	果樹	栃木県	大田原市	江崎 明雄	ナシ専作経営	3
紫白綬	野菜	兵庫県	姫路市	開発 明弘	野菜専作経営	4
緑白綬	農産	岩手県	花巻市	盛川 周祐	小麦・水稲・大豆・子実用トウモロコシ作経営(法人)	5
緑白綬	農産	福島県	会津美里町	横山 正治 横山 教子	水稲専作経営	7
緑白綬	農産	新潟県	新潟市	平野 栄治	水稲専作経営(法人)	11
緑白綬	農産	福井県	大野市	棟朝 利明	水稲・大麦・ソバ作経営	12
緑白綬	農産	岐阜県	郡上市	岩出 明喜	水稲専作経営(法人)	13
緑白綬	農産	大阪府	池田市	井関 義次	水稲専作経営	14
緑白綬	農産	岡山県	美作市	永谷 謙治	水稲・大豆・はだか麦作経営(法人)	16
緑白綬	農産	熊本県	熊本市	大津 隆満	水稲・大豆・小麦作等経営(法人)	18
緑白綬	特産	滋賀県	甲賀市	安井 敬一	茶業経営	14
緑白綬	野菜	青森県	鱒ヶ沢町	兼平 則雄	スイカ専作経営	5
緑白綬	野菜	秋田県	能代市	工藤 巖	ネギ専作経営(法人)	6
緑白綬	野菜	山形県	最上町	齊藤 菊雄	アスパラガス専作経営	7
緑白綬	野菜	栃木県	真岡市	館野 義明	施設イチゴ専作経営	8
緑白綬	野菜	埼玉県	小鹿野町	茂木勝一郎	施設キュウリ専作経営	8
緑白綬	野菜	東京都	日の出町	馬場 敏明	露地・施設野菜作経営	9
緑白綬	野菜	静岡県	藤枝市	上山 優	施設イチゴ専作経営(法人)	10
緑白綬	野菜	新潟県	新潟市	朝妻 幸雄	施設・露地野菜作 経営(法人)	11
緑白綬	野菜	京都府	京都市	石割 照久	露地野菜作(キャベツ・九条ネギ) 経営	14
緑白綬	野菜	奈良県	曾爾村	萩原 茂	施設ホウレンソウ専作経営	15
緑白綬	野菜	徳島県	板野町	茂美 良行 茂美美代子	ニンジン専作経営	16
緑白綬	野菜	熊本県	八代市	岡田 康 岡田美智子	施設メロン・トマト作経営(法人)	19
緑白綬	野菜	大分県	宇佐市	岩武 俊幸	コネギ専作経営	19
緑白綬	野菜	鹿児島県	指宿市	岡元 和人	露地野菜作(カボチャ・レタス) 経営(法人)	19
緑白綬	野菜	沖縄県	八重瀬町	金城 彰	露地野菜作(オクラ・サヤインゲン) 経営	20

区分	部門	都道府県	市町村	氏名	経営の特徴	掲載頁
緑白綬	果樹	岩手県	盛岡市	北田 晴男 北田 富士子	リンゴ専作経営	6
緑白綬	果樹	茨城県	取手市	小池 健	ブドウ専作経営	8
緑白綬	果樹	神奈川県	伊勢原市	石井 和夫	ナシ・ブドウ・カキ作経営	9
緑白綬	果樹	山梨県	南アルプス市	秋山 仙一	モモ・オウトウ・スモモ・カキ作経営	9
緑白綬	果樹	和歌山県	湯浅町	太田 直廣	カンキツ作経営(法人)	15
緑白綬	果樹	香川県	三豊市	吉田 哲士	カンキツ・ビワ作経営	16
緑白綬	果樹	愛媛県	松山市	青井 幹夫 青井 和子	カンキツ作経営(法人)	17
緑白綬	果樹	長崎県	佐世保市	宮崎 直利	露地ミカン作経営	18
緑白綬	花き	群馬県	明和町	峯崎 正春	鉢物花き専作経営(法人)	8
緑白綬	花き	長野県	伊那市	伊東 茂男	トルコギキョウ専作経営(法人)	9
緑白綬	花き	富山県	高岡市	清都 和文	チューリップ作経営	11
緑白綬	花き	福岡県	八女市	中園 英治	電照ギク専作経営	18
緑白綬	花き	佐賀県	みやき町	原 康裕	カーネーション専作経営	18
緑白綬	花き	宮崎県	宮崎市	松田 実	施設花き専作経営	19
緑白綬	複合	北海道	名寄市	藤垣 君子	露地・施設園芸・畑作複合経営(法人)	5
緑白綬	複合	北海道	岩見沢市	堀田 敏孝	水稲作・野菜作複合経営	5
緑白綬	複合	宮城県	加美町	加藤 重子 加藤 孝志	水稲・野菜作・民宿複合経営	6
緑白綬	複合	秋田県	大仙市	佐々木 彰 佐々木 幸子	水稲作・野菜加工等複合経営(法人)	6
緑白綬	複合	山形県	小国町	渡邊 正義	菌茸・水稲作複合経営	7
緑白綬	複合	石川県	小松市	野村 善覚	水稲作・加工複合経営(法人)	11
緑白綬	複合	愛知県	豊田市	梶 孝光	小ギク作・繁殖和牛複合経営	13
緑白綬	複合	三重県	南伊勢町	東 克臣	カンキツ・水稲作複合経営	13
緑白綬	複合	兵庫県	姫路市	山口 幹男	苗物・露地野菜作複合経営	14
緑白綬	複合	広島県	庄原市	藤本 勲	水稲作・和牛繁殖複合経営(法人)	16



# 公益社団法人 大日本農会

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番13号

三会堂ビル7階

電話 03(3584)6739番

FAX 03(3584)0573番

<http://www.dainihon-noukai.jp/>

E-mail: [noukai@dainihon-noukai.jp](mailto:noukai@dainihon-noukai.jp)